

授 業 計 画

| | | |
|--|-------------|--|
| 科目名 『 生活支援技術 I 』 | | 講師名 澤田 美奈子・高木 明美 |
| | | 実務経験 (有) ・ 無 |
| 対象学科名 介護福祉士学科 1 年 | 授業の方法 講義 | < 講 義 日 > 火曜日 1 限 (A組) 2 限 (B組) |
| <p>[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像 尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術の学習の習得を図る。 ・生活支援の意義と目的、利用者主体の視点とチームアプローチを学ぶ。 ・住まいの役割と機能、加齢と生活空間、快適な室内空間について学ぶ。 ・福祉用具の重要性、福祉用具を選ぶ視点を学ぶ。 ・具体的な家事援助における介護技術を学ぶ。 ・応急手当や緊急時の対応、災害時における生活支援について学ぶ。</p> | | |
| <p>[到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか) ①ICF の視点に基づき、利用者の全体像を捉え説明できるようになる。 ②生活行為ごとの介護に対する根拠を理解できるようになる。 ③福祉用具の活用方法などを理解し説明できるようになる。 ④応急手当の知識と技術や災害における生活支援など理解できるようになる</p> | | |
| <p>[検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など。 ・小テスト ・課題の提出</p> | | |
| [使用テキスト・参考文献] 中央法規 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術 I | | [成績評価の方法・基準] 定期試験及び授業態度、出席率を加味し、総合的に評価する。 |

| 回数 | 授 業 内 容 |
|----|----------------------|
| 1 | オリエンテーション・生活支援Ⅰについて |
| 2 | 生活支援の基本的な考え方、寝具の管理 |
| 3 | 生活支援とチームアプローチ |
| 4 | 自立した家事とは |
| 5 | 裁縫の介護（アイロン・裾上げ） |
| 6 | 裁縫の介護（ボタン付け）・衣類のたたみ方 |
| 7 | 洗濯の介護・衣類、 |
| 8 | 調理の介護 |
| 9 | 調理計画・金銭管理 |
| 10 | 買い物支援 |
| 11 | 調理支援 |
| 12 | 調理・買い物支援について振り返り |
| 13 | 家事の介護における多職種連携の必要性 |
| 14 | 掃除の介護・試験対策 |
| 15 | 前期まとめ 振り返り |

| 回数 | 授 業 内 容 |
|----|------------------|
| 16 | オリエンテーション・前期振り返り |
| 17 | 住まいの役割と機能 |
| 18 | 生活空間 |
| 19 | 快適な室内環境 |
| 20 | 安全に暮らすための生活環境 |
| 21 | 自立に向けた移動の介護 |
| 22 | 生活支援における福祉用具の重要性 |
| 23 | 福祉用具の種類 |
| 24 | 適切な福祉用具を選ぶための視点 |
| 25 | 応急手当について |
| 26 | 応急手当の実際 |
| 27 | 災害時で活動する際の心構え |
| 28 | 災害時における生活支援 |
| 29 | 試験対策 |
| 30 | 後期振り返り・まとめ |